

2. 教育部門報告 (2021年4月～2022年3月)

田中 信之
濱田 美和

国際機構では、富山大学に在籍する外国人留学生・外国人研究者のための日本語プログラムとして、日本語研修コース、日本語課外補講、総合日本語コース、これら3つを提供している。2021年度は、前期および後期に3つのコースを開講した。また、ライデン大学短期日本語研修プログラムは新型コロナウイルス感染症拡大のため、2年連続でライデン大学からの学生派遣が中止となった。そこで、ライデン大学生を対象としたオンライン留学プログラムを開講した。

2021年度日本語プログラム全体の受講者数は、前期が51人、後期が37人であった。各日本語プログラムでは専任教員がコーディネーターを務め、受講登録や成績に関わる業務を行った。また、日本語プログラムの科目の大部分は複数プログラムの合同授業となっているため、初級、中級、上級クラス別の担当者(専任教員)を設け、クラス運営を行った。また、これまで受講者の学習の進捗状況を把握するため、「授業記録システム」を活用してきたが、セキュリティの問題上、学内からの利用しかできなかった。今年度より、学外からも利用できる富山大学のMoodleを活用することとした。「授業記録システム」と同様に、学生の出欠管理、授業内容、学生の様子や教師の内省などを記録した。学期末にはクラス別に授業アンケートを実施し、日本語プログラム講師ミーティングにおいてアンケート結果の共有することにより、授業改善を図った。日本語プログラム以外には、留学生の日本語学習を支援するためのサイト「日本語学習支援サイト RAICHO」の運営を行った。

以下、日本語研修コース、日本語課外補講、総合日本語コース、日本語プログラム授業アンケート、日本語学習支援サイト RAICHO の順に活動状況を報告する。